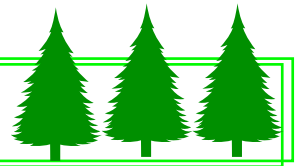


# みつぎ便り



第201号 6月号 令和5年6月1日発行 [http://itbs-ecopo.jp/environsurvey\\_report](http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report)

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



## ウラジロチチコグサ

茎の先端に黄色くてかわいい花をつけるハハコグサは、多くのひとつとしては、よく見かけるなじみ深い野草となっています。一方、ハハコグサに対するような名称のチチコグサは、茶褐色の枯れたような花をつけ目立ちません。かわいい花をつけるのが母で、地味で目立たないのが父なのでしょうか。なんとなく人

間味を感じるところですが、確かなことは不明なようです。

大きな違いのもう一つは味です。ハハコグサは昔から春の七草の御形ごぎょうとして親しまれ、食料になってきました。チチコグサはどうかというところには全く向いていないようです。

見次公園では、ボート小屋の反対側の土手、あるいはツツジの根本にウラジロチチコグサを見つけることができます。ウラジロチチコグサはその名前の通り、葉の表は緑色で裏は白い毛で覆われているのが特徴となっています。  
(静)

## セリ

ボート小屋に近い、清水が湧いている水場にセリがひとかたまり見られます。セリはセリ科の多年草で、日本全国の水田やみぞのへりの湿地に群生し、茎は二十〜四十センチになり根本から長い茎を四方にのびして繁殖します。名前の由来は、新苗がたくさん出る有様を競り合っているようにだからという説があります。



古く奈良時代にはすでに食用とされていた記録が古事記、万葉集に残されています。春の七草の一つでもあり独特の香りとシャキシャキした食感が爽やかです。

セリの仲間には、ドクゼリ、タケゼリ、サワゼリ、ハマゼリ、セントウソウなどがあります。

スーパーに買いに行っただけですが残念ながら、見つけられませんでした。因みに何度も申し上げております区の条例で公園内の植物の採取は禁止されております。

(重)